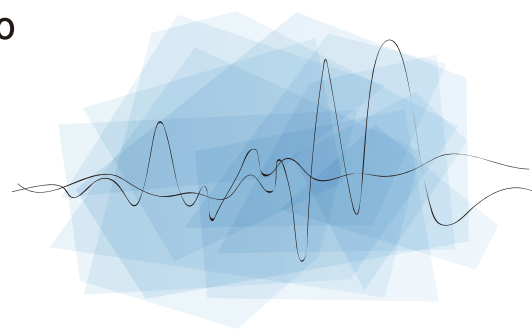


ミラノデザインウィーク 2018 帰国展

Soundscape AGC Studio Exhibition No.23

2018/6/5(火)-7/20(金) @AGC Studio

音という見えない存在によって
空間をデザインする。



写真は2018年4月開催のミラノデザインウィークにて撮影(撮影:三嶋義秀)

#agc_soundscape

AGC



AGC旭硝子は、2018年4月に開催された「ミラノデザインウィーク2018」に体験型インスタレーション作品“Soundscape”を出展しました。音(聴覚)をテーマに、気鋭の日本人建築家、萬代基介氏をクリエイションパートナーに迎え、当社の「音を生む」ガラスによって新しい「音の風景」を提案しました。本展ではその帰国展として、ミラノでの展示をAGC Studioの環境に合わせ、再構築してご紹介します。透明なガラスが生み出すクリアな音を通して、日常に存在する「音」を、これまでとは違った感覚でお楽しみください。

[開催日]2018/6/5(火)-7/20(金)

[開催時間]10:00-18:00

[休館日]日曜・月曜・祝祭日

[開催場所]AGC Studio

[入場料]無料

[主催]AGC旭硝子 AGC Studio



第95回 AGC Studio

デザインフォーラム

ミラノデザインウィーク2018 帰国展

Soundscape

スペシャルトークイベント

トークテーマ「ミラノデザインウィーク2018報告」

[開催日]2018年6月21日(木)

[受付]18:00 [講演]18:30-20:00

[出演]萬代基介

[会場]AGC Studio 2階セミナールーム 参加無料

[定員]70名(事前申込・先着順)

[申し込み]下記のホームページよりお申し込みください

www.agcstudio.jp/event/

音という見えない存在によって
空間をデザインする。

一枚の大きなガラスの板が、破片となって空中に散らばり、時間が静止したような空間をつくる。ガラスの持つ張りつめた構造的均衡状態が解放される一瞬の儂い美しさに満ちた空間。その静かな時間の中で、音だけが柔らかに動いていく。ガラスの欠片から生み出される音の断片の数々が、空間の中で立体音響として再構築され、新しいサウンドスケープを生み出す。音が雨のように降り注ぐ場所、川のように流れて行く場所、波のように押し寄せる場所など、透明な空間の中に見えない音の部屋を埋め込んで行く。

宙に漂う透明なガラス、そしてそのガラスが透明な空気を振るわせて響く音、この2つの透明な現象を重ね合わせることで、儂く、繊細で、美しいガラスの新しい可能性を提示する。

萬代基介



【クリエイションパートナー】萬代基介(建築家) / Motosuke MANDAI (Architect)

建築家。2005年東京大学大学院修了後、石上純也建築設計事務所を経て2012年に独立し、萬代基介建築設計事務所を設立。2012~2015年横浜国立大学大学院Y-GSA設計助手。2016年より東京大学非常勤講師。主な作品に、東日本大震災被災地宮城県石巻市の漁業の復興拠点「おしか番屋」、日本橋木屋本店「izutuki」、ATELIER MUJI「食のかたがみ展 だし」「地球の音楽展」など。DSA空間デザイン賞大賞、JCDデザインアワード金賞など受賞多数。



AGC Studio

[開館時間]10:00-18:00

[休館日]日曜・月曜・祝日・夏季休暇・年末年始

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-5-18 京橋創生館1・2階

[TEL]03-5524-5511

[E-MAIL]agc-studio@agc.com

www.agcstudio.jp

[電車でのアクセス]

- 銀座線京橋駅4番出口すぐ、
銀座の中央通りと鍛冶橋通りの交差点
- JR東京駅八重洲南口より徒歩10分
- 有楽町線銀座一丁目駅より徒歩4分
- 都営浅草線宝町駅より徒歩3分

